

〈インド古代文明〉

前 2300 年～ **ドラヴィダ人**がインダス文明を築く。

前 2000 頃～ **アーリア人**が北部から侵入し、パンジャーブ地方に定住。

ドラヴィダ人は南部へ移住。

→アーリア人は自然の神々への参加や儀礼を『ヴェーダ』にまとめる。

※ヴェーダの中でも最古のものを『**リグ=ヴェーダ**』という。

その他にサーマ=ヴェーダ(詠法集)、ヤジュル=ヴェーダ(祭式集)、

アタルヴァ=ヴェーダ(呪文集)がある。

→前 1000 年頃…**ヴァルナ**と呼ばれるカースト制の成立。

大きく 4 つの身分階級があり、更に職業の文化によって

3000 ものジャーティに分けられる(下図参照)

→司祭者としてのバラモンの性格が強まると、**バラモン教**が成立する

→ヴェーダなどの文献を書き記す中でサンスクリット語が発達。

『**マハーバーラタ**』、『**ラーマヤナ**』の二大叙事詩が成立。

〈4 つのヴァルナ〉

